

沿市内では、県営相の原住宅、県営亀塚住宅には飲料の自動販売業者にそれぞれ1器設置をしていただき、自治会で管理を行っていません。

市営住宅でも、こうした制度を利用しながら、可能かどうかということを検討していきたいと思えます。



AED

団体に貸し出しては

問 スポーツ少年団等、各種団体へAEDを貸し出してはどうか。

市長 教育委員会でも再点検、再確認をして、土、日にスポーツ少年団等でも、あるいは地域の人たちでも、いざというときには対応できるように工夫をして、具現化していかなければならないと思えます。

安全・安心まじりの基本計画



酒井 信幸

問 市民に対する防犯意識の高揚を、平成21年度はどのように取り組んだか。

市民経済部長 基本計画などを、広報やホームページで周知し、新しい安全・安心まちづくり懇談会で情報を共有し、意見を頂きました。

問 事件や不審者の情報を防犯指導隊やPTAなどに連絡を行ったのか。

市民経済部長 事件が起きた場合、市民への情報提供は警察と連携を取り、真偽性を確認し、プライバシーの関係を慎重に考え、各チラシを各公共施設に掲示しています。

問 角田市では安全・安心メールを配信して、1200件ほど登録しているが、岩沼市では行わないのか。

市長 行政としてなかなか簡単に取り組みにくいと思えます。

モデル地区の指定を

問 子ども、女性、高齢者等を犯罪から守ることをどのように行ったのか。

市民経済部長 関係機関との連携の下、危険箇所の点検、防犯パトロールなど、市民との協働の取り組みを実施しています。

問 計画を着実に進めるためモデル地区を指定すべきではないか。

市民経済部長 条例上は、活動推進モデル地区を指定できますが、現在のところ設定する地区の特定には至っていません。

歩いて暮らせるまちづくり



布田 一民

問 「歩く」という視点に立って考えるなら、障がい者と高齢者の場合には、福祉関係の団体の意見を取り入れてはどうか。また、他の意見を聞く体制づくりが大切ではないか。

市長 歩いて暮らせるよう

な範囲内で、日常生活が十分送れるような状況にしていかなければなりません。今後とも、そういった方々のご意見を頂きながら、事業を具体化するに当たっては十分配慮していく必要があると思えます。

道路の整備を早急に

問 大手町に公共空間として、図書館ができるが、歩道の段差や安全柵の景観等とはもとより、道路のグレイドアップを図り、「歩いて暮らせるまちづくり」としての道路整備を早くするべきではないか。

市長 中央通り同様、地域住民のご意見を頂きながら進めていきたい。歩道整備も、十分検討をしていきたいと考えています。

問 中央通りには、銀行、病院や商店があるが、公共サービス機関をつくることも大事だと思いませんか。

市長 なかなか難しい面もありますが、公共施設をどのように配置するかということも、十分検討していかなければなりません。



新図書館付近の道路整備状況

協働のまちづくり推進



大友 克寿

問 「市長への手紙」の対応はどのようにしているか。市長が直筆で返事を書くことはあるか。

市長 まず私が目を通し、担当部署において状況等を確認して検討を行い、その結果を回答しています。また担当の回答に加え、何かコメントできることは自筆でお答えしており、最低限